

平成21年度 第8回沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会議事要旨

日 時： 平成21年12月14日（月） 15:00～17:00
場 所： 琉球大学医学部附属病院 がんセンター
出席者： 7名 田名勉（友声会：患者） 玉城徳正（患者遺族）
樋口美智子（那覇市立病院） 仲村実和子（北部地区医師会病院）
金城尚美（沖縄県立中部病院）
石郷岡美穂（琉球大学医学部附属病院）
増田昌人（琉球大学医学部附属病院）
欠席者： 1名 崎浜海里（マインドケアおきなわ）
陪席者： 2名 西田悠希子・城間駒生（琉球大学医学部附属病院）

協議に先立ち、平成21年度第7回沖縄県がん診療連携協議会・相談支援部会議事要旨が承認された。

【報告事項】

1. がん患者ゆんたく会について

資料2-1、資料2-2、資料2-3に基づき、各担当委員より各地区のがん患者ゆんたく会の参加人数と内容についての報告があった。沖縄がん患者ゆんたく会については、他のゆんたく会と開催形式が異なるため、報告書の記入方法について再度検討する事が報告された。

2. がん相談件数（11月分）

北部地区医師会病院	11月	<u>5</u> 件				
沖縄県立中部病院	11月	<u>2</u> 件				
那覇市立病院	9月	<u>5</u> 件	10月	<u>4</u> 件	11月	<u>3</u> 件
琉大病院	11月	<u>7</u> 件				

3. セカンドオピニオンについて

資料4にもとづき、樋口部会長より現在沖縄県がん診療連携協議会ホームページに掲載中のセカンドオピニオン実施医療機関について全医療機関が掲載済みである事が報告され、その掲載方法について確認が行われた。その中で各医療機関リスト内に病院ホームページアドレスを記載し、アドレスをクリックすると直接病院ホームページへリンクするよう設定することが追加された。

4. がん相談実務者ネットワーク委員名簿について

資料5に基づき、がんセンター西田より、現在がん相談を行っている医療機関14施設へ依頼をかけた中で、未だ3施設から返答がない旨が報告された。3施設には引き続き案内を行う。また、今回作成した実務者ネットワークリスト訂正箇所等の確認が行われ、訂正後メーリングリストにて送信する事が承認された。

5. 今年度事業計画の中間評価と進捗状況について

資料6に基づき、樋口部会長より今年度事業計画の中間評価点数（10点満点）が報告された。

【協議事項】

1. 緩和ケア病棟への診療情報提供書について

資料7に基づき、樋口部会長より、現在緩和ケア部会にて取り組中である診療情報提供書の様式統一化について、様式（案）が作成されたことの説明が行われた。記載されている文言について再度修正が行われた。今後、診療情報提供書（案）について、現在緩和ケア病棟を持つ3施設（アドベンチストメディカルセンター・沖縄病院・オリブ山病院）へ緩和ケア部会より最終確認・使用依頼し、承認後、緩和ケア部会と連携し、相談支援部会にて各病院へ使用について広報する事が承認された。

2. がん患者必携（地域版）について

来年1月より琉大病院にてがん患者さんへ配布予定の患者必携について、地域情報沖縄県試作版（案）の作成を終え、その情報内容について精査が行われた。追加内容は、以下のものを掲載することが承認された。

P20「生活福祉資金の貸し付け」の項目に協会けんぽの連絡先を追加する

24 沖縄県内のソーシャルワーカー設置病院一覧（平成21年度）のものに訂正する。

また、それ以外のリストについても可能な限り最新のデータへ変更する

27 現在、訪問診療を行っているがん診療可能診療所を追加する

現在、終末期の受け入れを行っているがん診療可能診療所を追加する

41 在宅緩和ケア（がん終末期患者の在宅療養）についての相談は、「P〇～P〇をご参照ください」との文言を追加する

他、表現方法や敬語の統一化・施設一覧の掲載順の変更など、細部を修正する必要があり、修正後は次回部会にて報告する事となった。

3. 第2回リレーフォーライフ in うちな～ 2010 について

増田がんセンター長より、平成22年3月13日（土）～14日（日）に開催される「第

2 回リレーフォーライフ」へ相談支援部会より出展してはどうかとの提案があり、がん相談ブースを設置することが承認されたが、今年実行委員を務める、田名氏より、昨年は相談員が不在の時間も多かったため、相談ブースとしての機能をうまく果たせていなかったとの意見も挙がった。また、詳細については 12 月 19 日（日）に行われるリレーフォーライフ実行員委員会にて決定することが報告された。

4. 次年度事業計画について

資料 10 に基づき、次年度年間事業計画について協議が行われた。

次年度の計画内容には新規・今年度事業計画からの更新・今年度事業計画より継続の 3 つに分かれることが予想され、先ず今年度の計画よりその仕分けが以下のように行われた。

1. 沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリストを作成する・・・更新
2. 各拠点病院間のがん相談支援ネットワークの構築と、診療所も含めた全県的ながん相談支援ネットワークの構築を行う・・・更新
3. インターネットを利用した患者向けがん情報を発信する（協議会ホームページおよび拠点病院ホームページ上で、各種がんの基本情報、サロンや患者会等の紹介、セカンドオピニオンリストなどを公開する）
 - ①沖縄県全体のがん種別セカンドオピニオンリストを掲載する・・・事業計画 1 とする
 - ②がん相談に関わる実務者に役立つ情報（がん治療の最新情報、書籍、ウェブサイト等）を発信する・・・継続
 - ③沖縄県内の患者会リストを作成し、各患者会へ協議会ホームページへの掲載を提案する・・・継続
 - ④各拠点病院がん相談実績を公表する・・・事業計画 9 とする
 - ⑤患者・家族の要望に応えられるよう意見を募集し、協議会ホームページに掲載する・・・検討中
4. 各拠点病院に、がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場（サロン）を設置する・・・継続
5. 拠点病院におけるがん相談支援員の質の向上と、それ以外の病院におけるがん相談支援センターの設置とそれに対する沖縄県からの支援を求める・・・継続
6. 定期的に開催される相談員研修会を企画・開催する・・・継続
7. ピアサポーターの養成と各拠点病院でのピアサポートを実施する・・・検討中
8. 各拠点病院におけるがん種別院内患者会の設置、病院の垣根を越えたがん種別患者会連合会の結成の支援、更にはがん種横断的がん患者会の結成の支援とそれぞれに関しての沖縄県からの支援を求める・・・検討中
9. 拠点病院共通の相談記録様式を使用し、データー解析を行い公表する・・・継続

- 10.セカンドオピニオンの普及および啓蒙を兼ねたアンケート調査を、拠点病院およびがん治療を行っている県内の医療機関の医師・患者を対象に実施する・・・**継続**
- 11.セカンドオピニオン受診サポートプログラムの実現に向けて支援を求める・・・**検討中**

5. その他

崎浜委員より、事業計画7の取り組みである「ピアサポーター養成と各拠点病院でのピアサポート実施」について、外部よりがんの集団精神療法を専門にしている講師を招聘し、ピアサポーター養成講座を開催するための起案書が作成され提出された。開催するにあたり、予算が付けられるかは、厚労省への説明と確認が必要であり、それ以外にも患者会のリストアップや開催場所の確保・開催頻度など、長期話合いが必要と見られ、現段階では検討することとなった。今後、再度部会の協議事項に追加し検討事案の解決諮る予定である。

次回の第9回相談支援部会日程について・・・平成22年1月22日（金）15：00～がんセンターにて開催されることが承認された。

